

# 平成29年度事業報告書（抄）

## 1. 図柄入りナンバープレートへの対応

### (1) ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート

平成29年4月3日より我が国初の図柄入りナンバープレートであるラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート（以下「ラグビーナンバー」という。）の交付が開始されたことに伴い、ラグビーナンバーの円滑な交付に努めた。

### (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート

図柄入りナンバープレートの第二弾となる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート（以下「オリパラナンバー」という。）が、平成29年10月10日より交付が開始されたことに伴い、オリパラナンバーの円滑な交付に努めた。

### (3) 地方版図柄入りナンバープレートの導入に向けた取り組み

図柄入りナンバープレートの第三弾として地方版図柄入りナンバープレートの対象地域の募集が行われ、全国41の地域が対象とされ、平成30年10月頃から交付が開始される予定である。

このため、今後、地方版図柄入りナンバープレートについて、人間の目視による視認性の確認、カメラによる読み取り確認、オービス読み取り確認及び促進耐候性の確認の試験を行う予定であるが、41地域の図柄に対して全て実施する必要があることから、各種試験を効率的に実施するため、実施方法等について検討を行った。

### (4) 希望番号システムの改修

ラグビーナンバー、オリパラナンバーの交付については、希望番号システムを活用して行うこととされていることから、受付開始及び交付に向けて、希望番号システムの所要の改修を行った。

また、地方版図柄入りナンバープレートの交付に向けた希望番号システムの改修作業を進めた。

## 2. ナンバープレートの普及に向けた広報・啓発

平成29年10月に開催された第45回東京モーターショー2017へ「ナンバープレート展」と題して全標協ブースを出展した。

このブースにおいてラグビーナンバーやオリパラナンバーの見本の他、日本のナンバープレートの歴史、世界のナンバープレート、ナンバープレートの品質管理の表示等の展示を行った。

## 3. 分類番号のローマ字の導入対応

希望番号の払底への対応として分類番号のローマ字の導入が行われ、これに対する供給体制の確立等の措置を講じた。

## 4. 自動車登録手続適正化の推進

全標協においては、引き続き「自動車登録等手続適正化推進協議会」に参画し、自動車登録申請手続に関するリーフレットの作成や各自治体・警察署等への配布活動に協力し、自動車登録手続等に関する適正化の推進に努めた。

## 5. 個人情報の保護

認定個人情報保護団体として、個人情報保護指導委員会において決定された業務計画に基づき、苦情の処理、会員に対する情報の提供、個人情報保護指導指針の遵守指導等の充実強化に取り組んできたところである。

平成29年度は、4ブロックの研修会等に講師を派遣し、会員の職員等に対する個人情報保護に係る教育研修等の支援を行った。

なお、平成30年3月の個人情報保護指導委員会において、平成30年度の認定団体業務計画が決定された。

## 6. 自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）に向けた関係団体との協力体制の構築

今後とも進捗状況等を注視し、関係団体との連携のもとにOSSの進展に向けて適切な対応に努めた。